

1) 第172号

土曜日発行

2009年(平成21年)10月3日(土曜日)

河北新報

大崎

河北新報社
土曜版編集室
〒989-6162
大崎市古川駅前大通2-6-16
電話 0229(22)0066
©河北新報社 2009

地域福祉の向上に一役

加美高齢者施設「バルムなかにいだ」

大崎地域では数少ない建設会社が営む高齢者施設が、加美町羽場にある。2006年3月に開業した「バルムなかにいだ」。認知症のお年寄りが数人でユニットを組み、共同生活を送るグループホームだ。この7月には1棟を増設して新しいユニットを編成。建設会社が自ら設計した建物はお年寄りへの気配りが随所に見られ、地域福祉の向上に一役買っている。

運営は地元建設会社

バルムなかにいだを運営する「バルムなかにいだ」の知識がわずかの段差も認識できない。同じ羽場地区にある中新田建設で、見て歩くことから始ると勘違いして観葉植物を考えた開放感のある平屋設計。1953年創業で、現在の佐藤彰吾社長(48)が3代目だ。

グループホームの開設について佐藤社長は「不景気で建設業の仕事が著しく減り、また、妻の祖母が認知症を患ったのがきっかけだった」と振り返る。

妻の晴美さん(40)は

7月に1棟増設

17人生活、随所に気配り

西側の窓からは、葉菜山がはつきり見える。当初は一つの建物で、ユニットも「さわぐらの里」だけだったが、着実に介護の充実を図り、新しいユニット「みずはし」が、入る建物

は69歳から97歳までの17人に増え、8人と9人に分かれて共同生活を送っている。ホームの特徴は行事の多さ、七夕や敬老会といった催しに加え、リンゴ狩りや彼岸花の観賞などで出掛ける機会もある。連絡先はバルムなかに

だ0229(63)8160。職員は働きやすい環境づくりも目指し、看護師



新しく建てられた「みずはし」の里は天窓から日光が差し込み、明るい雰囲気



さまざまな行事で撮った写真を見ながら、思いお話を花を咲かせる佐藤社長と妻の晴美さん

ウォッチ

職員は働きやすい環境づくりも目指し、看護師

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。

職員は働きやすい環境

だ0229(63)8160。